

1 題材名 スリーヒントクイズをしよう

2 題材について

本学級は、8名在籍である。本時は5名で学習を行う。話すことが好きで自分の考えや気持ちを伝えたいが、語彙が乏しく上手に言葉で表現したり、自分から友達にコミュニケーションをとって関わったりすることが苦手な生徒が多い。また、自分の考えを伝えたいという気持ちを抑えられずに、相手が話をしている最中でも話をしてしまう生徒がいる。

本題材では、スリーヒントクイズの問題を作ったり、それに答えたりする中で、友達と楽しみながらコミュニケーションをとることができる力を育むことをねらいとしている。クイズの問題は動物、乗り物、食べ物、スポーツの身近なものにすることで、語彙が少ない生徒でも主体的に取り組みやすくしていきたい。また、よく聞かなければ答えを導きだせないようなクイズを通して、話を聞くことの大事さに気づき、相手の話を聞くことができるようにする。

指導にあたっては、スリーヒントクイズを通して、コミュニケーションに必要な語彙力や話し方、聞き方を身に付けられるような活動を取り入れていく。相手に分かりやすい伝え方、声の大きさやスピード、話を聞かときのポイントを理解できるようにする。そして周りの人とコミュニケーションをとる際に学んだことを生かし、円滑な人間関係を築ける一助となることを目指したい。

3 生徒の実態と個別目標

	題材における実態	題材における目標
A	・自分の事について話すのは得意だが、人の話を最後まで聞くことは苦手。自分の考えを主張してしまうことがある。	・伝わりやすい特徴を考えて、相手に分かりやすく伝えたり、推測して答えたりすることができる。【3－(2)】
B	・気になることや思うようにいかないことがあると、不安定になる。こだわりが強く、気持ちの切り換えが難しい。私語が多い。	・相手の話を最後まで聞いてから発言したり、適切な言葉を使ったりすることができる。【6－(2)】
C	・周りの目を気にしすぎるところがあり、被害妄想が強く、泣くことがある。気持ちを持ち直すまでに時間がかかることがある。自分から集団に関わろうとする気持ちが弱い。	・特徴を捉えたり伝えたりする活動に、見通しをもって取り組むことができる。【2－(2)】
D	・集団に合わせて行動することが苦手。大人数では集中できないことが多く、少人数や個別での支援が必用。こだわりが非常に強く、自分の好きなことは集中して活動することができる。	・ICTを活用し、問題の特徴を捉えて簡単な言葉で伝えることができる。【6－(3)】
E	・友達とコミュニケーションをとることが難しい。疑問や不安なことがあると落ち着かなくなり固まってしまうことがあるが、教師に質問して自分なりに理解できることが増えてきた。	・ヒントを考えたり、問題に答えたりする活動の状況に応じて、適切に対応することができる。【6－(5)】

4 指導計画と評価（6時間扱い）

次	時間	学習内容・活動	評価				
			A	B	C	D	E
1	1	・話し方、伝え方について考える。	・相手にわかりやすく伝えることができる。	・相手に伝え方を考える。	・自分の言葉で伝えることができる。	・はっきりと伝えることができる。	・相手にわかりやすく伝えることができる。
	2	・話の聞き方について考え、相手に最後まで聞く。質について考える。	・3つのポイントを意識し、聞き取る。	・相手の話を最後まで聞くことができる。	・姿勢に注意し、聞き取る。	・相手に注目し、聞き取る。	・理解できた質問の仕方について考える。
2	1	・絵カードの仲間分けを通して、特徴を捉える。	・絵カードの特徴を捉え、増やすことができる。	・絵カードを分類する。特徴を捉えることができる。	・興味がある点で、絵カードの活動を追加する。	・絵カードの名称を確認し、増やすことができる。	・絵カードの特徴を捉え、増やすことができる。
3	1	・スリーヒンズ作りの仕方について知る。例題にチャレンジする。	・簡単な例題の解き方を捉え、特徴を捉えることができる。	・ヒントを順番に捉え、考えることができる。	・特徴を捉え、伝え方を考えることができる。	・色、形、大きさ、特徴を捉えることができる。	・学習したことのまとめ、特徴を捉えることができる。
	2 本時	・スリーヒンズ作りの仕方について知る。例題にチャレンジする。	・特徴を考え、伝え方を考えることができる。	・相手の話を最後まで聞き取る。	・活動に見通しをもつ。活動に取り組むことができる。	・活動を理解し、伝えることができる。	・活動の状況に応じ、活動に取り組むことができる。
4	1	・スリーヒンズ作りの仕方について知る。例題にチャレンジする。	・伝え方、聞き方について振り返り、理解することができる。	・話の聞き方について振り返り、理解することができる。	・言葉の伝え方について振り返り、理解することができる。	・友達に伝える仕方について振り返り、理解することができる。	・伝え方、聞き方について振り返り、理解することができる。

5 本時の指導

（1）個別目標

- A：特徴を考えて分かりやすく伝えたり、推測して答えたりすることができる。【3－（2）】
 B：相手の話を最後まで聞いてから発言することができる。【6－（2）】
 C：特徴を捉えたり伝えたりする活動に、見通しをもって取り組むことができる。【2－（2）】
 D：問題の特徴を捉えて、簡単な言葉で伝えることができる。【6－（3）】
 E：考えたり答えたりする状況に応じて、適切に対応することができる。【6－（5）】

（2）準備・資料

- ・タブレット（生徒）・パソコン（教師）・モニター・問題（動物、乗り物、食べ物、スポーツ）
- ・カード（待ちます、話していいのかな、発表手順等）・ワークシート（活動用、振り返り用）
- ・ホワイトボード・ペン

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価 (◎評価)					
	全 体	A	B	C	D	E
1 はじまりのあいさつをする。	・あいさつの仕方 正しい姿勢で声を出してあいさつできるようにする。	・良い姿勢でいるときは称賛し、意欲を高められるようにする。	・声の表を提示し、声の大きさに注意して号令をかけることができるようにする。	・休み時間に声をかけ、学習への切り換えがスムーズにできるようにする。	・時計を見るように声をかけをし、授業の始まりを意識できるようにする。	・はきはきした声であいさつできた時は称賛し、自己肯定感を高められるようにする。
2 本時のめあてを確認する。	・学習の内容やスケジュールを知らせることで、見通しをもって取り組めるようにする。	・スケジュールを指差しながら順を追って説明することで、安心して取り組めるようにする。	・声かけやカードを提示することで、勝手な発言を減らす意識ができるようにする。	・スケジュールを指差し確認すること、見通しをもって取り組むことができるようにする。	・スケジュールを指差しながら説明することで、注目して聞くことができるようにする。	・スケジュールを確認することで、安心して活動できるようにする。
3 スリーヒントクイズの作り方について確認する。	・特徴を3つ捉え、ヒントを出す順番を考える。	・ヒントのポイントを提示することで、安心して取り組めるようにする。	・動画を準備しておくことで、クイズの作り方を視覚的に確認できるようにする。	・カードを提示し、特徴を視覚的に捉えられるようにする。	・カードを提示し、決められた場面でタブレットを使用できるようにする。	・今までの学習を振り返り、クイズの作り方や特徴を捉えやすくする。
4 スリーヒントクイズを作る。	・食べ物、動物、乗り物、スポーツから選び、ヒントを考える。	・色、大きさ、形、素材等について考えると良いことを助言する。	・1つずつ答えに近づいていけるようヒントを助言する。	・意欲的に活動しているときは称賛し、意欲を高められるようにする。	・タブレットを使用して簡単な言葉でヒントを考えることができるように補助する。	・ヒントを伝える順番は、1つずつ答えに近づいていけるように、これまでの学習を元に考えられるように助言する。
5 クイズを出し合う。	・クイズを出す。声の大きさや早さに注意して、はっきりと伝える。	・タブレットを活用して、ワークシートにクイズを記入できるようにする。	・カードを提示し、自分から意識して発表者の話を聞くことができるようにする。	・クイズを出す順番をリードして決めることができるように役割を与え、意欲をもって活動できるようにする。	・ヒントを提示し、タブレットを使用して簡単な言葉でヒントを考えることができるように補助する。	・発表手順を提示することで、安心してすすめることができるようにする。
6 振り返りをする。	・クイズを聞く。しゃべらずに、相手を見て、最後まで聞く。	・発表者カードを提示し、発表者の話を集中して聞くことができるようにする。	・声の大きさカードを掲示しておくことで、適切な声の大きさで話すことができるようにする。	・発表手順を提示することで、安心して発表できるようにする。	・相手にわかるように、はっきりとゆっくり話すことを意識させる。	・教師が一緒になって温かい声かけをしたり、拍手したりして、場の雰囲気盛り上げることができるようにする。
7 終わりのあいさつをする。	・感想を発表する。タブレットでまとめ、発表する。友達の発表に注目して聞き、拍手する。	◎特徴を考えてわかりやすく伝えたり、推測して答えたりすることができる。(ワークシート、行動観察)	◎相手の話を最後まで聞いてから発表することができる。(ワークシート、行動観察)	◎特徴を捉えたり伝えたりする活動に、見通しをもって取り組むことができる。(ワークシート、行動観察)	◎問題の特徴を捉えて、簡単な言葉で伝えることができる。(ワークシート、行動観察)	◎考えたり答えたりする状況に応じて、適切に対応することができる。(ワークシート、行動観察)